

リアルタイムPCRによる遺伝子発現解析の基礎セミナー

リアルタイムPCRは遺伝子定量を行う上で重要なツールです。医学研究支援センター(ドラッグディスカバリーセンター)では StepOnePlus、QuantStudio™ 6 Flex Real-Time PCR システムを設置しています。

本説明会ではサーモフィッシャーサイエンティフィック社から講師をお迎えし、リアルタイムPCRの基礎からトラブルシューティングを含む実験のポイントまで解説して頂きます。詳細は別紙要旨・スケジュールをご確認ください。

皆様のお申込をお待ちしております。

日時：2023年9月5日(火) 15:00-16:30

開催形態：オンライン(Zoom)

申込方法：以下のURLからお申込みください。

<https://forms.gle/2NtFH4dhVfMu2Dty9>

※切：2023年9月4日(月) 13:00

締め切り後、申込者全員にZoom接続情報等をメールでお知らせします。



申込URL

==== 説明会・機器利用に関する連絡・問い合わせ先 =====

京都大学大学院医学研究科 医学研究支援センター ドラッグディスカバリーセンター

メール：info@support-center.med.kyoto-u.ac.jp

URL：<http://support-center.med.kyoto-u.ac.jp/SupportCenter>

この説明会は「令和5年度
医学研究技術実習」
受講時間にカウントされます
受講時間：2時間



HP

連絡用
メール
アドレス

リアルタイムPCRによる遺伝子発現解析の基礎セミナー

【要旨】

リアルタイムPCRは遺伝子発現解析に欠かすことができない手法として多くの研究分野で活用されています。今回のセミナーでは臨床検体を含めたRNAサンプル取扱いの注意点を含めて、リアルタイムPCRを行うにあたり必要な基礎知識と安定した結果を得るために必要となる実験のコツなどを紹介します。これから研究を始める方も更に良好なデータを出したい方にもお役に立つ内容を提供いたしますので、この機会に是非ご参加ください。

【スケジュール】

15時から16時半(予定)

(1) RNA抽出やサンプル準備の注意点(約30分間)

- ・回収したRNAの品質評価のポイント
- ・逆転写反応やcDNA溶液取扱いのコツ
- ・臨床系検体からの解析注意点 など

(2) リアルタイムPCRの基礎原理と活用法(約60分間)

- ・リアルタイムPCRの基礎原理
- ・蛍光ケミストリ(TaqMan法/ SYBR Green法)の特徴
- ・遺伝子発現解析方法(検量線法/ $\Delta\Delta CT$ 法)
- ・内在性コントロール選択のコツ
- ・良好な結果を出すための分注操作 など